

# 小4ふりかえり学習 モデルカリキュラム ー算数・数学ー



平成29年2月発行

京都府丹後教育局

〒626-0044 京都府宮津市字吉原 2586-2

電話 0772-22-2175

<http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-k/>

本書に関わる著作権は京都府丹後教育局にあります。



平成29年2月

京都府丹後教育局

**平成 27 年度**

**「小4ふりかえり学習」実践開発協力校**

宮津市立宮津小学校

京丹後市立かぶと山小学校

与謝野町立岩滝小学校

**平成 28 年度**

**「小4ふりかえり学習」実践推進校**

宮津市立宮津小学校

京丹後市立いさなご小学校

与謝野町立岩滝小学校

与謝野町立市場小学校

## はじめに

将来の社会的自立に向けた能力をはぐくむための教育活動を通して、児童生徒に「質の高い学力」を身に付けさせることは、学校教育の普遍的な役割です。丹後教育局管内の学校では、授業改善はもとより、授業を補完するためのドリル学習や家庭学習、補習・補充等、さらには校内研修等による指導力向上など、様々な取組が進められてきました。加えて、児童生徒に「質の高い学力」を身に付けさせるためには、発達段階に応じた指導を工夫することが欠かせないことから、保幼小連携・小中連携を充実させ校種間の接続を工夫するなど、義務教育9年間を見通して指導の系統性・一貫性・連続性を確保することも重要な課題として取り組まれているところです。

児童生徒の学びを俯瞰してみると、幼児期から小学校、中学校へと発達の段階が上がるにつれて、具体と抽象、感覚と論理、事実と意見、基礎と応用、習得と活用・探究など、認識や実践できるものが変化していきます。とりわけ小学校の中学年から高学年にかけては、学習が抽象的・論理的なものへと変わる節目に当たり、小学校6年間の中でも重要な時期であると考えられます。そのため、この節目に当たる時期を前に、それまでの基礎的・基本的な学習内容をしっかりと定着させておくことは、中学校修了時で求められる学力を身に付けるための学習の基盤として極めて重要です。

丹後教育局では、このような考え方にに基づき、小学校4年生に着目した「小4ふりかえり学習」のモデルカリキュラムの開発に取り組んできました。「小4ふりかえり学習」は、小学校4年生の1年間をそれまでの基礎的・基本的な知識や技能、重要な概念を定着させる「体系的な復習とまとめの期間」として位置付け、学校体制による指導を実施しようとするものです。授業を補完する効果的な学力向上システムの一つとして小学校の教育課程に位置付けることで、小学校高学年以降の学習につながる基盤を確立することを目的としています。

開発に当たっては、平成27年度に実践開発協力校を指定し、3校の小学校で算数科の「小4ふりかえり学習」に取り組んでいただきました。この実践開発協力校の実践は、丹後教育局で検討した内容や理論を加えて、平成28年3月に「実践事例集」として管内小・中学校に配付したところです。さらに平成28年度は実践推進校を指定し、4校の小学校で実践事例集を活用した実践に取り組むとともに、事例の改善や充実に取り組んでいただきました。御協力いただきました小学校に対しまして、心から感謝申し上げます。

本モデルカリキュラムは、この2年間の研究実践の成果を集約したものです。「小4ふりかえり学習」の理論や考え方、教育課程への位置付け例や具体的な単元・教材などを収録しています。丹後教育局管内の小学校の状況は、児童数、教職員数、教職員体制、児童の実態など、様々です。本モデルカリキュラムを参考に、各学校の実情に合わせて事例を修正したり付加したりすることにより、無理なく、効果的に「小4ふりかえり学習」に取り組んでいただけるものと考えています。

本モデルカリキュラムが、各学校の児童生徒の「質の高い学力」のさらなる充実に寄与することを願ってやみません。

# 目次

## 小4ふりかえり学習を活用した教育課程

1 「小4ふりかえり学習」の意義 ～なぜ小学校4年生なのか～	1
2 「小4ふりかえり学習」の内容と進め方	3
3 教育課程上の位置付け	5
(1) 単元関連型	6
(2) 学期末集中型	7
(3) 年間スケジュール型	8

## 算数・数学の系統

1 「小4ふりかえり学習」で重視したい算数・数学の系統	9
2 小学校5年までに体系的に復習したい技能や概念等 ～関数と空間図形の学習につなぐ～	10
3 系統表 【関数につながる指導や概念等の系統】	11
【空間図形につながる指導や概念等の系統】	12

## 事例

事例1 「かけ算の意味についてふりかえろう」	単元関連型	13
	年間スケジュール型	18
事例2 「関係性を図に表してみよう」	単元関連型	20
	年間スケジュール型	22
事例1・2を行き来する内容	年間スケジュール型	24
事例3 「二つの数量の関係をみつけよう」	単元関連型	29
事例4 「平面図形をふりかえろう」	単元関連型	33
	年間スケジュール型	37
事例5 「量感覚を豊かにしよう」	年間スケジュール型	41
事例6 「立体図形をふりかえろう」	単元関連型	44

## 資料

1 定着引継シート	51
2 つまずき把握シート	52
3 「かたちづくりをしよう」 資料1～4	53